



かみさと



議会 だより

- ◇12月定例会の審議状況 …P 2
- ◇12月定例会一般質問に9人 …P 4
- ◇議会閉会中の委員会活動報告 …P13
- ◇3月定例会会期日程等 …P14

春の陽だまりの中で



86

堤調節池・遊歩道
(昨シーズン撮影)

第5回 12月 定例会

12月6日～16日

国保税条例他の一部改正を可決！



12月定例会は、12月6日に開会され、議員の各の一般質問と町長提出議案12件他を審議して16日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

◆ 条例改正 ◆

上里町職員の給与に関する条例及び上里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

上里町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、職員給与の給与改定を行うとともに、上里町長、副町長、教育委員会教育長及び議会議員の期末手当の額等の改定を行うものです。

上里町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例

要旨 成年被後見人及び被保護佐人の人権が尊重され、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないよう、関係法律において成年被後見人等に係る欠格条項の削除等が行われたことに伴い、関係条例の一部を改正するものです。

上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

要旨 平成30年度より国民健康保険制度が広域化され、埼玉県が財政運営の主体となりました。埼玉県が示す標準税率と現行の町の保険税率には

大きな差があることなどから、課税額を段階的に見直ししていく必要が生じたため、条例の一部を改正するものです。

◆ 補正予算 ◆

令和元年度上里町一般会計補正予算(第4号)

概要 歳入歳出それぞれ7371万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ95億4891万1千円とするものです。

主な事業

財産管理事業

346万9千円

空の杜保育園の開設にあわせ、コミュニティセンター駐車場の北側間口の拡張や樹木の伐採などの改修を行

い、各施設利用者の安全確保を図るための整備工事を計上するものです。

交通安全対策事業

242万2千円

主に、未就学児集団経路安全対策合同点検などの結果を踏まえ、外側線や指導停止線など、道路交通安全区画線の新設及び改修を行うための費用を計上するものです。

都市計画事業 878万円

三田中通り線沿線の民間開発行為に伴い、道路拡幅予定地の買収を行うための測量業務委託料及び土地購入費を計上するものです。

令和元年度上里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

概要 歳入歳出それぞれ

1億6772万2千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ30億2716万5千円とするものです。

令和元年度上里町介護
保険特別会計補正予算
(第3号)

概要 歳入歳出それぞれ15
6万3千円を追加し、予算総
額を歳入歳出それぞれ18億7
930万円とするものです。

推 薦
上里町名誉町民の推薦
につき同意を求めるこ
と

要旨 元上里町長相川武雄氏
を上里町名誉町民として推薦
するものです。

協 定
本庄地域定住自立圏の
形成に関する協定の更
改

要旨 本庄市と上里町との間
で締結している本庄地域定住
自立圏の形成に関する協定に
おいて、新たな施策の追加及
び項目の一部修正等の変更を
行うものです。

道路線廃止・認定
上里町町道路線の廃止

要旨 町道1425号線につ
いて、国道17号本庄道路の整
備に伴い、始点終点の変更及
び北側工場用地の代替地進入
路として払い下げ予定のた
め、路線廃止及び再認定をす
るものです。

上里町町道路線の認定

要旨 町道1529号線、
町道1530号線及び町道
1531号線について、国道
17号本庄道路の整備により、
始点終点の変更が行われたた
め、再認定をするものです。

陳 情
歩行弱者に光を

要旨 歩行弱者支援対策（交
通費補助）の早期実現を求め
るものです。

12月定例会 議案に対する各議員の賛否

議 案	議 員 名												結 果			
	新井 實	高橋 仁	沓澤 幸子	納谷 克俊	高橋 正行	植井 敏夫	植原 育雄	齊藤 崇	猪岡 壽	仲井 静子	飯塚 賢治	高橋 勝利		高橋 茂雄	黛 浩之	
上里町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町職員の給与に関する条例及び上里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町名誉町民の推薦につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
本庄地域定住自立圏の形成に関する協定の更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
令和元年度	上里町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
陳情書 歩行弱者に光を	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	採択
重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
学校体育館へのエアコン設置にかかわる緊急防災・減災事業債の対象期間延長を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。



沓澤 幸子



問 防災ガイド・ハザードマップ等の学習会を

答 来年の出水期前を目途に実施したい

質問 1

防災関係について

問 台風19号の降雨量による烏川・神流川の水位は、「防災ガイド・ハザードマップ」に対してどうであったのか。過去の水害発生との比較を含め学習会を行っては。

答 今回の台風を参考に、住民がとるべき行動や事前の備えについて説明する機会を、来年の出水期前を目途に河川流域の地域を中心に、高崎河川国道事務所、熊谷気象台等も含め調整して実施したい。

問 水害時の避難場所は、浸水想定のない七本木地域を指定することが大事です。浸水の危険がない七本木地域の避難施設は何人分確保できますか。

答 今回は、河川に近接する地域の避難所を開設した。ご指摘の通り、広域的な視点で避難場所を、民間施設の活用も含め、検討して計画に織り込んでいきたい。

問 避難所のエアコンの整備や、住民に提供できる蓄電池、配慮が必要な方のための備品や避難場所の確保など、今回の経験を活かし「地域防災計画」を男女同数の意見を取り入れ、見直しては。

答 様々なリスクを減少させ、避難者の不安や負担を軽減させるためにも、冷暖房設備や非常用電源の確保は必要だが、財政負担も大きく慎重な判断が必要。防災分野に、女性の視点も必要なので検討したい。

問 防災行政無線のデジタル化を行った地域でも、防災放送が聞こえにくい状況でした。防災ラジオを導入し、きめ細かい発信が必要では。

答 令和2年度中の全町防災行政無線デジタル化整備と同時に、電話自動応答装置により聞き直すシステムも導入します。今後、デジタル化に移行した段階で、個別受信機に変わる機器があるか、費用対効果も見極め検討していきたい。

問 減災にむけ、堤防未整備箇所問題、洪水調整施設を有しない烏川、決壊しづらい耐越水堤防の整備、河床掘削や河川周辺の樹木の伐採と根っこの撤去を国に要望し、町としては、災害ごみの仮置き場計画を。

答 国や県などの関係機関に対し、早急に必要な対策を働きかけたい。



御陣場川から堤調節池への流入風景

食材の確保などの基本部分を整備した上で、誰でも気軽に立ち寄れる「子ども食堂」のスタートを。

答 子ども食堂は、世代間交流、食育、学習支援など、地域をつなぐ大切な役割がある。セミナー開催や関係機関と連携しながら開設に向け準備を進めたい。

問 暑い夏でも外で遊べる様、水遊びできる場所を児童館の庭に設置できないか。

答 水を活用したあそび場は大切。児童館に来館する親子の意見、安全性なども調査し検討したい。

問 学校の制服は、女子のパンツスタイルだけでなく「ジェンダーレス制服」を含め、クルビズや機能性を重視した検討も必要です。議論の状況は。

答 教育長 各中学校及び関係機関と検討を重ね、4月からスラックスを導入予定です。暑い時期については、半袖、ハーフパンツ着用を許可しています。

質問 2

教育・保育について

問 県内で「子ども食堂」の未実施は上里を含め11市町村です。開催場所や運営経費、



納谷 克俊

問 監査制度の充実強化について

答 制度の大きな転換期と認識している

① 地方自治法等法改正による変更点等について

問 法改正により監査制度の充実強化が図られ「監査委員は監査基準に従うこと」とし、監査基準は、各地方公共団体の監査委員が定め公表するとなり、その策定公表については令和2年4月1日施行となっております。

町における監査基準策定の進捗状況、上里町監査委員としての独自性について代表監査委員に伺います。

答 代表監査委員 監査基準の策定、公表について現在準備を進めている段階であり、総務大臣より示された指針に則した基準を想定しています。

また、基準により町の年間監査計画を策定するに当たり、これまでの監査等に加え、町が発注する工事等の進捗に併せて必要に応じて随時監査を行うことも検討しています。

問 監査機能の充実・強化、更なる独立性の担保などの観点から、識見監査委員を2人とし、議選監査委員を選任しないとする選択肢について町長は如何お考えか。

答 監査の質をより高めることが期待されますが、人材確保の課題もあり、また、議会とも十分な議論を重ねるべき案件であると考えます。



定例監査風景

質問 ②

事務局体制について

問 監査制度・体制の充実強化を図る上で、監査委員事務局

局は監査委員の職務を補助する機関として重要な要素です。議会事務局の体制を維持しつつ、監査制度・体制の充実・強化を図るために監査委員事務局、議会事務局兼務の上で1人増員して事務局4人体制にすることを提案いたしますが如何お考えか。

答 今回の自治法改正は監査制度の大きな転換期と認識しており、組織体制の充実を図るの策定は大きな課題です。役場職員の定員も限られており、定員管理計画、業務量、実施施策等を総合的に判断し、組織全体のバランスを考慮しながら次年度の人事、組織体制を構築します。

質問 ③

年額報酬の見直しについて

問 監査委員は例月出納検査、定期監査、決算審査やそれらに伴う事前取りまとめ、県や都市監査委員協議会の総

会や研修会など、登庁される日数も相当数に上り、また、在宅での調査研究にも多くの時間を割かれています。

町では代表監査委員が年額22万7000円の報酬であり、職責や実務日数から勘案しても現在の年額報酬は少な過ぎると感じます。

答 監査委員報酬も含め、特別職の報酬を見直す時期に来ていると思えますが如何お考えか。

県内の町村の学識経験の監査委員報酬月額を比較したところ、最高額は4万5000円、最低額は1万2500円であり、上里町は月額換算すると1万8900円になり県内町村では低い団体に入ります。

監査委員さんは非常に熱心に町の監査業務に取り組んでいただいております。現状の業務量、勤務日数を考慮し、他市町村との比較を行い、同規模自治体の報酬額を参考に検討していきたいと思えます。



植原 育雄

問 台風19号の問題点と解決策について

答 教訓生かし防災、災害対策を推進したい

質問 1 災害対策について

問 台風19号で初めて避難勧告を発令し避難所を開設したが、問題点と解決策は。

答 避難所運営時の問題点として、避難者を受け付け時に世帯構成により振り分けることが出来なかったことや授乳室やおむつ替えのスペースがなかったことがある。ハザードマップの見方や避難所の場所が分からない、自分の家は安全かといった問い合わせもあつた。今回の教訓を生かし、防災や災害対策を推進したい。

問 下久保ダムの放流は。

答 洪水調整容量確保のため事前放流し、下流の水位を低減させる防災操作を実施したとのことである。今後、鳥・神流川減災対策協議会で意見交換を行い、必要な要望を行いたい。

問 神流川に対して、切れ目のない堤防の建設は。

答 国道254号線の藤武橋



台風時の忍保パブリック公園

北側付近に霞堤があり、神流川右岸の宮多目的広場北側付近から上里サービスエリア付近まで約1500メートルは無堤防区間である。利根川水系河川整備基本方針の計画高水流量を達成の為、30年間で整備する箇所ではないが、鳥川・神流川改修促進期成同盟会で堤防の早期整備を引き続き国土交通省へ要望したい。

問 防災ラジオの導入は。

答 町では、防災行政無線のデジタル化を進めており、令和2年度中に町内全域に高性能スピーカーを設置予定である。アナログ電波形式の防災ラジオは使用不可であり、防災ラジオに変わる専用個別受信機が必要となる。

問 浸水想定区域内の浄水場の現状と冠水防止対策は。

答 金久保と五明の浄水場は、浸水想定区域内にあり、防水扉等の浸水対策は必要である。今後、国の検討状況や対応策を確認し、効果的な浸水対策を検討したい。

質問 2 障害のある方の働く場所の確保について

問 障害のある方の働く場所の確保は。

答 児玉郡市障害者就労支援センターで障害者の一般就労機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう支援している。

又、介護者の高齢化により、障害者介護ができない自立生活支援は、本人、家族、関係機関が意見交換し、今後、必要と思われる各種サービスや成年後見制度等の活用を検討し、支援したい。

質問 3 上里中学校校庭の風による土ぼこり対策について

問 スプリングラー等の設置による「土ぼこり対策」は。

答 教育長 土ぼこり対策は様々な方法が考えられるが、他の自治体や運動施設の先進地での事例等、情報収集を行い、対策方法を研究していきたい。

質問 4 高齢者対策について

問 交通事故防止の為に「踏み間違い衝突防止装置取り付け」の周知と助成は。

答 県に確認の結果、国の動向や他県の取り組み状況を踏まえ、効果的な補助制度の在り方を検討しているとのことだった。

問 高齢者等で体の不自由な方の「朝のゴミ出し・買物・通院」等に対し町の取り組みの現状と今後の対策は。

答 困りごとを抱えている方の支援として、支え合いサービス事業、高齢者等生活応援隊を町社会福祉協議会等で実施している。



高橋 茂雄

問 消防団の車庫を開放することについて

答 開放は難しい

質問 1 消防団の車庫の開放について

問 町内の高齢者が増加する中、趣味やサークルで活用できる施設が不足すると思われる。町では、中央公民館・隣保館・集会所等、次々と廃止してきました。そこで、新たな施設の活用として、消防団の車庫の活用について伺います。ルールを決めて、会議室やレクリエーション等の場所として開放して使用できませんか。使用できれば、たくさんの方が助かると思われる。また、地域の皆さんと車庫を活用して地域防災の研修、防災訓練等を消防団員と区長が協力し合い、コミュニケーションを図りながら子どもたちに消防団の大切さや災害の怖さを伝える場所として活用出来ませんか。

答 地域コミュニティーの場として消防団車庫を開放することについて、消防団の車庫は、資機材の保管場所となっ

ており、建物の構造や開放した場合の管理等を勘案すると開放は難しい。



消防団車庫

質問 2 生活環境と不登校の関連について

問 今の子どものうちの7人に1人が貧困家庭と言われています。生活保護世帯でなく、金銭面や見回り活動で手助けしてほしい就学援助や準要保護世帯でこのような世帯が何件あるのか調査したことがありますか。また、行政の窓口も、子育て共生課や学校教育課など、相談窓口を分けられないで、一括して相談できるよ

う一本化することはできませんか。

答 それぞれの業務を担当する課において相談の窓口対応をしており、複合的な課題を抱える相談内容に応じる際は、関係各課で連携を図りながら、さまざまな支援を行っている。また、埼玉県のアドバイスを受けたり、他市町村の動向を調査研究し、社会福祉協議会・関係各課・関係機関と連携を図りながら、町民にとって利用しやすい相談体制を構築できるような取り組みでいく。

問 不登校について伺います。不登校の原因はいじめや友達関係など把握している場合と、ある日突然原因が分からないまま不登校になったりする場合があります。生活環境によってさまざまな変化があると思われるが、担任教師の対応をお聞かせください。

答 教育長 不登校対策としては、各学校において、児童・生徒や保護者からのさまざま

な悩みを相談出来るよう、教育相談主任を中心に、児童・生徒から特に悩みを打ち明けられる可能性の高い養護教諭や担任を初めとして、校内での教育相談体制の充実を図っている。また3者面談など、保護者と児童・生徒、担任が学校生活などについて相談が可能な機会を設けている。上里町では、スクールソーシャルワーカー・さわやか相談員・スクールカウンセラー等の配置により、児童・生徒、保護者が悩みを相談しやすい環境づくりに努めており、これらの体制を活用しながら、充実した対応を図っていく。





高橋 勝利

問 町の防災に対する認識について

答 大災害を教訓に防災・減災の対策を進める

1 小・中学校教育の取り組みについて

問 9月9日の教育新聞では、大阪教育大学附属平野小学校の先生から、算数の捉えなおしが出る子どもを育む学びのプロセスとして、振り返りの活用を行ってきた報告があります。成果は、子どもの学習や背景、性格などを加味し、個別支援を行い、子どもと子どもが共有できる場の設定が、自己評価が出来る子どもを育てると考えました。上里町の学校教育課の取り組みは評価しますが、更に算数・数学の学力向上を図るためにどの様に取り組んでいくのかお聞きします。

答 教育長 小学校は、中学校、高等学校に結び付ける基礎を学ぶ時期です。算数・数学は一つひとつの内容の積み上げの教科ですので、学力調査の分析を活用し、まずは積み残しが無いように進めていきたいと考えています。中学

校、高等学校の連携に関してもより一層進められるよう、随時情報提供をしていくなど経験を活かし取り組んでいきます。

問 児童・生徒の3割が宿題以外は勉強しないという事について伺います。これは高校2年生を対象とした調査で、宿題以外は勉強しないと答えた割合は、3割に達する事が分かりました。この現実を見て、学力向上に取り組んでいく町の事態と照らし合わせ、どの様に取り組んでいくのかお聞きします。

答 教育長 小・中学校の取り組みについて上里町では、全ての学校で自主学習を推進しています。通常の宿題とは別に自分で選んで取り組む自主学習を行う事で、学習への自主性を推進しています。小学校では自主学習が終わると修了証が授与されるなど意欲を持たせる工夫をしています。

2 上里町の防災の認識について

問 台風19号は、気象庁の発表では1週間前から大型で猛烈な台風が日本列島を直撃すると予想していました。町は、どの時点で危機感を持ったのかお聞きします。

答 近年経験のない大型の台風で、町としても初めての避難勧告を発令し、避難所を開設しました。台風発生以降、動向を注視しながら、担当課と情報共有を行い、打ち合わせ会議、体制の協議、土のうの作成、忍保パブリック公園トイレ撤去など台風へ備え、警戒第1、第2配備を行いました。

問 避難誘導についてお聞きします。

答 10月12日、河川沿いの地域に避難勧告を発令し、町長自らの声で放送を行いました。**問** 町長自らの放送は良かったが、半面、放送がよく聞こえなかったとの意見も多く寄せられました。そうした事を考えると、防災放送については、再度検討すべきと思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

答 町では防災無線のデジタル化を進め、令和2年度中には町内全域に高性能スピーカーを設置する予定です。



新たに設置された高性能スピーカー

問 緊急時の情報伝達では消防が巡回していました。町も広報車で呼びかけすべきだと思いますが、町長の答弁をお願いします。

答 防災無線による放送、防災メール、アプリ、水防団による呼びかけなど、情報伝達手段の多重化を図り、迅速、正確に発信できるよう努めます。



猪岡 壽

問 上水道事業の多額な元利償還額について

答 令和元年度以降は減少していく

1 一般会計と水道事業の元利償還額について

問 平成30年度の一般会計と上下水道事業の元利償還額は合計で13億7472万5千円であり、そのうち利息額は1億3679万8千円となっている。特に上下水道事業については元利償還額が4億9279万7千円で、上水道事業では営業収益の71%、下水道事業では2倍以上の償還額となっているが、この水道事業の財政状態について町長の見解をお聞きしたい。

答 上水道事業では、平成30年度の償還額が3億を超えた。これは昭和63年度からの償還額と平成23年度の償還額が重なったためであり、令和元年度以降は減少していく。下水道事業については、整備面積の拡張のため、新たに借り入れする企業債の償還がある中で、毎年度緩やかに増加し、令和13年度から15年度にかけてピークとなり、以降は緩やかに減少する見通しである。

問 一般会計の地方債と水道事業の企業債の残高のうち、金利の高いものについて繰上償還できないのか。

答 地方債や企業債の繰上償還をするには、借入期間が終了するまでの利子に相当する額を保証金として支払わなければならないため、財政的なメリットはないこととなる。

問 上水道事業ではここ数年、年間7〜8千万円資金不足が生じているが、令和3年度に予定されている料金改定をどのようにしていくのかお聞きしたい。

答 令和3年度に予定している料金改定では、今後の更新事業の投資試算、財源試算などを考慮し、継続して安定した事業経営が出来るよう適正な料金改定をしていきたい。

2 税収以外の収入を増やす施策について

問 スマートインター周辺を

活性化することにより、農産物直売所の売上増を図り、それに携わる関係者全体の所得向上をさせて、個人町民税の増収を図り、また町のPRにも繋げることが必要だが。

答 この周辺を活性化することにより町の歳入が増加することだけでなく、町の観光や地域の活性化の大きな財源になると考えている。そこで町も案内看板を設置した。これからも公園整備を行いながら、周辺事業者と知恵を出し合い、事業を展開していきたいと考えている。

問 最近上里ゴルフ場の利用者が増えているようである。特に、台風19号で近隣の河川敷のゴルフ場が休止していることで、利用者が集中しているようである。利用者の増加はゴルフ場利用税の増収に繋がり、また町の特産物を景品や売店で販売すれば、町の増収になるが。

答 平成30年度の利用者は10年前の1.5倍となっている。



スマートIC近くの案内看板

今後は更なる利用者の増加を期待したい。

現在ゴルフ場では、地元企業の商品などは積極的に取り扱っているようなので、今後は、コンペの賞品や売店で地元特産物のより一層の取り扱いをお願いしていく。

問 人口減少などで町税の減収が予測される中「ふるさと納税制度」等の寄附制度を積極的に活用し、町の財務体質を強化させることが必要だが。

答 寄附額は年々伸びているが、更なる増加に向け、乾武マラソン大会参加権や、上里ゴルフ場プレー割引券などを返礼品に加えている。



仲井 静子

問 地域行政区の役員の担い手確保について

答 業務の軽減化が重要と認識している

1 幼児の弱視・遠視の早期発見について

問 保健センターが実施している視覚検査は、問診票とランドルト環を使用し、家庭で保護者が事前に視力を測っていますが、3歳児健診で屈折異常が見逃された場合、治療が遅れ十分な視力が得られず一生弱視です。眼疾患は幼児期の早期発見・早期治療が重要です。スポットビジョンスクリーナーは、たった数秒で近視・遠視・乱視・不同視・瞳孔不同などの異常を検出できる機器です。精度の高い検査を実施し、異常の見逃しを無くし、適切な治療につなげるべきでは。

答 スポットビジョンスクリーナー等の機器を導入する場合、実施方法や判定基準、精密検査のフォローアップ体制等を検討する必要があるため、屈折検査を導入している自治体の実施方法等の情報を収集し、慎重に検討を進めていく。

2 地域行政区の役員の担い手確保について

問 人口減少と少子高齢化に加え、生活環境の変化や価値観の多様化、地域内でのつながりの希薄化、又地域課題の増加や意識・関心の低下などから、現在地域行政区の区長・民生委員等の担い手確保が大変厳しい状況です。地域コミュニティの重要な役割を担っている行政区の活動を維持していく為に、働く人が役員につけるようなフォロー



視覚スクリーニング検査イメージ

体制、役員の負担軽減化、行政区の再編、制度の見直し等の支援体制について行政としてどう対応するのか。

答 区長・民生委員・児童委員の担い手確保には、業務の軽減化が重要と認識している。関係各課、関連機関と調整を図りながら、また、各役職が活動しやすい環境づくり、支援体制の整備に取り組んでいく。

問 区長報酬について検討すべきでは。

答 区長報酬は、20年間変わらず年額20万8000円である。支給額については町内の他の役職とのバランスや近隣市町の動向を見ながら今後検討していく。

3 防災における男女共同参画の推進について

問 災害時のニーズには、性別により違いがあります。それに応えるには、防災・減災

行政に携わる委員に女性を増やすべきです。長い間、町では防災・災害復興の分野は男性の領域と考えられ、防災会議や防災計画の策定などの意思決定の場にいるのは男性がほとんどで、その為女性の視点が欠如し、改善されぬまま今日に至っています。防災に関する施策・方針決定過程における女性の参画をどのように推進するのか。

答 防災会議における女性委員の割合は約17%と依然低く、目標の30%に達していない。地域社会には、子どもから高齢者まで男女を問わず様々な方がいる。今後、防災分野における施策・方針決定過程での女性の参画について、拡大できるように努力する。

問 男女双方の視点を取り入れた防災講座の開催について。

答 町民の防災意識高揚を図る為、男女双方の視点を取り入れた防災講座等の開催について検討していく。



黛 浩之

問 災害時・停電時の避難所等の給電設備は

答 東小・北中に太陽光発電と蓄電池を設置している

質問 1 災害時・停電時の避難所等における給電設備について

問 令和元年9月9日に千葉県に上陸した台風15号では、送電線鉄塔の倒壊などにより、房総半島を中心に大規模な停電が発生しました。その翌月10月12日に上陸した台風19号では上里町でも避難勧告が発令され、異例の事態となりました。

答 この台風により町内で停電等の発生はなかったが、もしも停電になったときの避難所での給電設備について町ではどのような準備、または対策や計画があるのか。

答 避難所等における非常用電源の確保状況では、小・中学校7ヶ所に設置してある防災倉庫にガスで充電できる小型発電機を1台ずつ備蓄している。しかしながら避難施設全体の電力を賄うには乏しく、非常用電源を有している施設は役場庁舎と浄水場のみと

なっており、上里東小学校及び上里北中学校に太陽光発電と蓄電池を設置しているのが現状である。

問 町内にある大型商業施設と災害時の食料・物資等の供給などの支援協定の締結や避難所に指定することも、町民の安心・安全を確保する上では効果的な方法ではないか。

答 町では民間企業との協定を進めており、物資の提供や物資集積場所に係る協定など、さまざまな内容の協定を締結している。民間施設を避難所にする場合には、統一的な災害対応実施のための指揮命令



北中屋上設置の太陽光パネル

質問 2 町制施行50周年を迎えるにあたって

系統の確保や収容可能人数の把握、そのほか施設利用上の制限等を調整する必要がある。

問 上里町は昭和29年に神保原村、賀美村、七本木村、長幡村の4カ村が合併して上里村となり、昭和46年に現在の上里町へと生まれ変わりました。この町はJR神保原駅、

関越道のサービスエリア並びに上里スマートインター等を有し、好立地に恵まれながらも人口減少には歯止めがかからない状況であります。そこで令和3年に迎える町制50周年記念事業で上里町を全国にPRしていく計画はあるのか。

答 町制50周年記念事業につきましては、半世紀にわたる町の歴史の節目を町民の皆様とともに祝い、未来に向かってともに歩んでいける記念事業としたいと考えています。また、この記念事業を実施する

にあたり、さまざまな広報ツールを利用し、上里町の良さを発信し全国にPRしていきたいと考えています。

問 広報ツールとは具体的にどのようなものを使っているのか。

答 ホームページや新聞等マスコミを含めNHK浦和放送局でのテレビ番組の中に上里町を取り上げてもらいたい。



町制施行40周年記念式典の様子



飯塚 賢治

問 新たなラジオ型端末の導入について

答 ラジオ型端末は必要と思う

1 災害時に備えた公共施設等の機能拡充について

問 台風19号で町として初めて避難所を開設し、830名の避難者が来られた。こうした呼びかけをする防災放送が全く聞こえなかった。とても不安でどう身の安全を守ればよいのか分からないとの声が上がった。新たなラジオ型端末の導入については。

答 情報伝達手段の多重化は必要と考える。防災放送が聞こえないところを補充するラジオ型端末は必要かと思う。全ての住民によりよい情報が伝わるように、今後精査し検討していきたい。

問 埼玉県に直接影響する地震は、マグニチュード7以上の5つの地震発生が想定されており、また、台風やゲリラ豪雨が頻繁に起こる中、避難所の環境のことも考えなければならぬ。避難生活が長期化することを想定した上で適切な対応が望まれるが。

答 町では、災害対策基本法の一部改正で示された避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針に基づき、避難所運営マニュアルの見直しや物資の備蓄等を推進している。今後、避難生活の長期化を想定し、良好な生活環境の確保を行っていく。

問 避難所となる体育館のエアコン設置であるが、補助金制度があるうちに考えては。

答 体育館は広く、冷暖房効果を出すには相当な設備費用がかかる。施設の老朽化にあわせて更新のタイミングを見ながら慎重に研究していきたい。



2 質問 余熱利用施設「湯かっこ」の利用について

問 12月1日より「湯かっこ」がリニューアルオープンした。かみさと荘のお風呂がなくなり5年が過ぎ、かみさと荘の利用者が半減している。町にもお風呂施設が欲しいという声がある中、町からも高額な負担金を出して運営されている小山川クリーンセンターの余熱利用施設「湯かっこ」へ行く定期便を出すことについて伺う。

答 町では、町民の要望を受け「湯かっこ」へマイクロバスの送迎を平成15年から開始した。平成21・22年と利用者が減少し、費用対効果も期待できないことから平成22年度をもって運行を中止した経緯がある。現時点においては、定期便運行について民間入浴施設と競合する中、利用者のニーズを見きわめ、検討する必要があると考える。一方で、町の広報やホームページで「湯かっこ」のPRを行い、その営業を支援し、利用者が増加するようであれば、必要

なサービスの提供について検討したい。

3 質問 新生児聴覚力検査について

問 新生児聴覚スクリーニング検査が受けられる医療機関が児玉郡市で1ヶ所の現状で大丈夫であるのか、新生児聴力検査に対する公費助成はしてもらえるのかお尋ねする。

答 埼玉県では、県内自治体から委任を受け、県内及び関東1都5県に所在する医療機関との妊婦健康診査業務の一括契約を行っており、妊婦は助成券を使用し、健診が受けられる。全ての出生児が新生児聴覚検査を受けられるよう、この契約の際に新生児聴覚検査の契約も同様に行うよう、調整を図っているところである。町としても県が進めている体制を整えば、実施可能と思われる。公費助成については、子育て支援の充実の一環として検討していきたい。

11月19日 視察先：千代田区立麹町中学校

○学校教育の先進的な取り組みについて

研修は、初めに学校長から麹町中学校が取り組んでいる教育方針を説明して頂きました。学校の特色としては、生徒の自律性を尊重し、宿題・定期テスト・担任制廃止など中学校の教育方針としては最先端の取り組みではないかと思いました。また苦手とする科目に時間をかけ、学力を伸ばすという方法にも取り組んでおり大変素晴らしいと思いました。

研修参加者は、私の見る限り学校教育関係者が多かったような気がしました。参加者の中には、乳飲み子を抱え参加していた方もおり、この方がどのような立場の方なのか分かりませんが、この学校に対する高い関心度が感じられました。

廊下では小さな机で、先生と生徒が教科書を広げ授業の話をしている光景を見て、誰もが目に付く場所での先生とのやり取りは、他に例のない取り組みでありました。授業状況も見ましたが、これまでの経験では考えられない光景でありました。

以下一緒に研修に参加した委員の中から沓澤委員と仲井委員から感想を述べて頂きました。

【沓澤委員】基礎学習を身に付けさせる、自立した

生徒の育成という、教育目標の下、固定担任制、中間期末テストを廃止して单元ごとのテストを実施した後に、再チャレンジテストを実施する方法は、解らなかった所を自覚して学習ができ、理解が深まる方法だと思います。自分の苦手な所に学習時間を設け、成績が上がるのは宿題がないから出来る事であり、目標達成の好循環を感じました。

【仲井委員】工藤校長の第一声は、学校生活で一番大切な事は「生徒と先生の信頼関係」で、生徒がどうしたいか何を求めているのか、よく話を聞くということでした。学校で当たり前のように行われていた宿題・定期テスト・担任制・校則の見直しを行い、大人が作った決まり事から解放し、自由な環境の中で今までの考え方をほぐすりハビリを保護者や学校全体で取り組むことで、自立した生徒を育成している学校でした。



1月15日 会場：本庄市

山梨学院大学教授の江藤俊昭氏をお迎えし、「議会運営における質問のあり方」というテーマで講演をしていただきました。

今回江藤教授から「議会運営における質問のあり方」というテーマで講演をいただき、改めて質問の重要性や難しさについて痛感いたしました。

議会における質問といいますと一般質問が最初に頭に浮かぶ方が多いと思います。もちろん一般質問も町政に対する提言といった意味でも大変重要なものです。

しかし今回の講演を聞き、各議案に対する質疑も一般質問に劣らず重要なものであると改めて感じました。議案は条例改正などについて町長から提出されるわけですが、当然メリットだけでなくデメリットを含んでいるものもあります。

そこで今の議会（議員）に求められているものは、質問力よりも質疑力ではないかということでした。質疑は議案の議決（表決）に直接関係するもので、議決（表決）に責任を有する議会としては、質疑こそ「華や

かで意義のある発言の場」として位置付ける必要があるとのことでした。

議会は追認機関ではなく、あくまで首長と両輪の関係でなくてはなりません。質疑は議案の問題点等を浮かび上がらせる意味でも重要です。現在上里町では質疑は議員が個々に行っていますが、今後は議員間討議の時間を作ったりするなど議会として統一した見解を持つことも必要ではないかと感じました。

上里町議会でも一昨年の9月に議会活性化特別委員会を設置し、議会運営における改革も少しずつですが進んでいます。議員個人のスキルアップも当然必要になりますが、全議員が一丸となり、よりよい町づくりの実現という目標に向かって、日々研鑽を積んでまいりたいと思います。



議会日誌

12月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 定例会初日(開会、町長の行政報告、一般質問)
- 9日 一般質問
- 10日 全員協議会
- 11日 議案審議(条例、補正予算等)
公共交通等対策特別委員会
- 12日 議会活性化特別委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 16日 定例会最終日(陳情等採決、閉会)
議会活性化特別委員会
- 18日 本庄上里学校給食組合臨時議会
- 26日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

1月

- 1日 元旦歩け走ろう会
- 9日 埼玉県・市議会議長会・町村議会
議長会新年懇談会
- 12日 上里町消防団・署出初め式
上里町成人式・名誉町民章授与式
- 15日 議会活性化特別委員会
児玉郡町議会議員後期研修会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 埼玉県町村議会議長視察研修会
- 23日 全員協議会

2月

- 3日 埼玉県北地域町村議会議長視察研修
- 7日 埼玉県町村長・町村議会正副議長合同研修会
- 12日 議会だより編集委員会
- 14日 議会運営委員会、議会活性化特別委員会
- 19日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 20日 本庄上里学校給食組合議会
- 21日 埼玉県町村議会議長会定期総会

3月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 (開会) 一般質問	6 一般質問	7
8	9	10 議案審議 (条例・補正)	11 議案審議 特別委員会	12	13	14
15	16	17 議案審議 (当初予算)	18 常任委員会 特別委員会	19 常任委員会	20	21
22	23 報告・採決 (閉会)	24	25	26	27	28
29	30	31				

*開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、
昼休憩後、原則再開は午後1時30分からとなります。
*議事の進行上、休憩が入る場合があります。

3月定例会一般質問一覧

氏名	質問事項
納谷 克俊	①危機管理体制について
	②クビアカツヤカミキリによる被害対策について
猪岡 壽	①町の保育園事業について
	②町の水道事業について
	③災害対策事業について
仲井 静子	①女性の活躍推進について
	②持続可能な開発目標SDGsの取り組みについて
高橋 勝利	①少子化対策について
	②町民体育館及び忍保パブリック公園トイレについて
	③上里町の道路整備について
沓澤 幸子	①防災対策について
	②環境基本計画の基本方針3について
	③生活支援の拡充について
飯塚 賢治	①骨髄バンクドナー登録について
	②ワクチン再接種の助成について
	③災害発生時等の情報共有について
齊藤 崇	①伝統文化について
	②読書について
	③町道の整備について
高橋 茂雄	①交通問題について
	②生活環境について

編集後記

今年の冬は暖かい日が続きましたが、皆様に、議会だよりが届くころにはどんな陽気になっているのでしょか。気候変動による大災害に見舞われ続ける今日、災害から命と暮らしを守るために、行政の役割と同時に住民意識も課題になっていきます。3月議会は5日から始まります。住民の願いがどの様な計画で予算計上されるのか、議会も真剣に審査いたします。是非、議会傍聴にお出かけください。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 猪岡 壽
 - 副委員長 高橋 勝利
 - 委員 高橋 仁
 - 委員 沓澤 幸子
 - 委員 齊藤 崇
 - 委員 高橋 浩之

